

会議名	令和6年度（2024年度） 第4回 宝塚市子ども審議会 小委員会			
日時	令和6年（2024年） 8月28日（水） 午後 1時30分～午後 3時30分		場所	市役所 政策会議室
出席者	委員	中谷奈津子、松島京、平原雅明、椎山美恵子、田中誠、藤井真人、藤田かおり（敬称略） 計7名（欠席2名）		
	事務局	子ども政策課長、同係長、同係員		
	拡大事務局	子育て応援課長、子ども家庭支援センター所長、子ども発達支援センター所長、保育企画課長、同副課長、保育事業課長、アフタースクール課長、子ども総合相談課長、家庭児童相談課長、健康推進課長、障害福祉課長、基幹相談支援センター担当課長、せいかつ支援課長、教育支援課長 計14名（欠席3名）		
会議の公開・非公開		公開	傍聴者	なし
内 容（概要）				
1 開会 会議の公開について 事務局： 当審議会については公開を原則としている。本日は、傍聴者はなし。 2 議題 （1）宝塚市こども計画 たからっ子「育み」プラン（素案）について ○事務局から、資料1、2に基づき宝塚市こども計画 たからっ子「育み」プラン（素案）について説明。 委員： P.37の「グラフ挿入予定」にはどのようなグラフが入るか。 事務局： 主な課題に対応するグラフ等を入れたいと考えている。 委員長： 資料1P.10に「今どき」という表現があるが、行政の文章ではあまり見慣れない。「今どき」は一般的に否定的なニュアンスも含むので、「昨今」等表現を修正した方がよいのではないか。 事務局： シニア世代は子育て経験があるが、その頃の子育て方法と今の方法は異なっているので、それを理解した上で支援をしなければ、若い世代からは「余計なお世話」と受け止められかねない。そこで、今の子育て状況を理解してほしいという意味で「今どき」という言葉を使っているが、他の表現について検討する。 委員： P.40就労支援事業について、若者サポートステーションは宝塚市とも連携して就労支援をしているので、何らかの形で記載できないか。 事務局： 検討する。 委員： 本計画は、パブリックコメントを実施するのか。 事務局： 実施する。 委員： P.32の主な課題に「スマートフォンの使い方やインターネットの利用について」とあるが、主な取組事項は「スマートフォンやインターネット利用について」となっており、表現が異なっている。学ぶべきことは情報モラルなので、「スマートフォンやインターネットの利用方法」と揃えたほうがよいのではないか。 委員長： 取組事項に修正を加え、「主な課題」の文章も揃えたほうがよいという意見である。 事務局： 修正したい箇所がある。P.48の表について、どの学校区分からないので、P.47と同じように左側に学校区分入れるとともに、それによりスペースがなくなるので合計欄を削除する修正を行いたいと考えている。また、P.46、②の2つ目の項目「確保方策については…」の全文を「確保方策については、低学年の待機児童対策を優先的に各校区の実情に合わせて策を講じ、対応していきます。」に修正させていただきたい。 委員長： 学童保育のセルを統一するのはよいアイデアだが、合計を削除することで分かりにく				

くなるのではないか。

事務局： その点は悩んでいたところである。

委員長： 経年の合計が出ることで、待機児童対策の経緯が分かる。市民は細かい数字よりも最後の合計を見るのではないか。

委員長： 5年分を掲載する必要はあるか。

事務局： 5年分の掲載は必要である。

委員長： 必要ということであるが、全体合計はなくてもよいという意見はないか。

委員： 個々に見るよりも、全体として合計を見るのではないか。

事務局： 表の記載方法について検討する。

委員長： 合計を最後にするのではなく、最初に置くのはどうか。その内訳として各学年を表示する等も考えられるのではないか。見やすさ優先で検討していただきたい。

委員： 表紙のタイトルについて、このままでパブリックコメントを出すと分かりにくいかもしれないので、副題を付けてはどうか。

事務局： 検討する。

○事務局から、資料2に基づき、計画書全体について説明。

委員長： 計画書全体を通して意見をいただきたい。

委員： P. 14の図について、中心の子ども会の右上に書かれている「民生児童委員・主任児童委員会」の「会」を削除していただきたい。そのような会は存在しない。

事務局： 「民生児童委員・主任児童委員」に訂正させていただく。

委員： P. 12の施策体系について、「子どもの人権擁護の推進」が施策3から施策6に移ったことで、施策3の施策の方向性が少なく感じる。「教育環境の整備」は大きな課題であり、P. 36を見ても、いじめ防止対策推進事業や子ども支援事業において不登校の生徒に対するサポート体制を整備する等は学校環境が資するところが大きいと思う。子どもの人権擁護の推進を施策6に入れるというのも一理ではあるが、事業内容的には施策3に含めてもよいのではないか。

委員長： 「子どもの人権擁護の推進」が施策6に移ったことで施策3の量が少なくなったように見えるが、それでよいかということと、人権擁護については教育が資するところも大きいのではないかという意見である。

委員： 前回の議論では、P. 41成果指標の設定で、「教育環境の整備」を「子どもの権利があることを知っていた」という指標で測るのはどうかということであった。子どもの権利に関わることであるなら施策6でよいと思うが、いじめ問題や不登校などは学校に関わる問題だと思うので、「教育環境の整備」に入れておいて、P. 41の「検討中」となっている指標に別のものを入れてはどうか。前は「成果指標の設定」として取り扱う項目がずれているという議論であったと思う。

委員長： P. 41の施策6に「子どもの権利があることを知っていた」という成果指標は入れなくてもよいということか。

委員： ここは教育環境が整備されたことが分かる別の指標にする方がよいと思う。

委員長： P. 41の「子どもの権利があることを知っていた」という指標を削除して、検討中のところを人権以外の指標で再検討する。P. 12の施策体系は「子どもの人権擁護の推進」を施策3に戻してもよいのではないかという意見である。

委員： 人権擁護に関することを成果指標に使うとすれば、いじめや不登校に関わるアンケート結果で、子どもが自分の権利が守られて学校に行きやすくなった等を体感できていることが分かるものを入れるほうがよいのではないか。

委員長： P. 41の「子どもの権利があることを知っていた」という成果指標自体が非常に広いところを捉えているので、もう少し限定的な指標に置き換えて「教育環境の整備」の中に入れてもよいのではないかという意見である。

事務局： P. 41施策6の「子どもの権利があることを知っていた」という指標を削除し、施策3には別の指標を入れる。P. 12施策体系は施策6の①を施策3の④に戻すという形に修正する。

委員長： P. 41のアンケートによる指標は、先に行われた計画策定のためのアンケートから抽

出しているのか、あるいは宝塚市で行っている他の市民アンケートからも抽出しているのか。

事務局： 今は計画策定のために行ったアンケート結果のみから抽出し、成果指標としている。教育環境の整備の成果指標については、当該アンケート項目だけで考えると適するものが見当たらない可能性もあるので、別のアンケート結果の項目も含めて検討する。

委員長： 「アンケートによる指標」と書かれていると、見た人は「何のアンケートなのか」と思うので、何のアンケートかを明記していただきたい。

委員： P. 36の主な事務事業、子ども支援事業に「SC等専門家」という表記がある。SCはスクールカウンセラーのことであると思うが、略字については、元の言葉に戻すか、説明を入れたほうが分かりやすいのではないか。

委員長： そこに書き入れるか、注釈として説明を入れるとよいかもしれない。

委員： 現行計画は、後ろに用語説明が載っていたが、今回は本文中に用語説明を入れるのか。

委員長： 現行計画は、P. 130に「その他（用語の説明）」が掲載されているが、今回はそのようなページはあるのか。

事務局： ページが分かると見にくいので同じページ内で用語説明を入れたいと考えている。SCの他にも分かりにくい単語はあると思うので、次回全体会までに整理する。

委員： P. 59について、（４）だけ具体性がなく、何もしていないように感じられるので、どこかと連携しながら活動した上でさらに良くしていくというような表現のほうがよいのではないか。

委員長： これは「研究していきます」という表現のためにそうみえてしまうのか。そうすると、（３）も同様の書き方なので、具体的な取組として見えないのではないか。研究とはどのレベルの研究か。

事務局： 市全体でどのような取組をしているか整理ができていないので、庁内で確認する。「引き続き充実を図る」という思いで「研究していきます」と書いているので、もう少し具体の取組も明示しつつ、充実を図ろうとする様が見えるような形にできればよいと思う。

委員長： P. 59の（１）（２）は「連携促進を図る」「必要な支援を行う」という書き方で、どのようなことをするかをイメージしやすいが、（３）（４）は「研究していく」という書き方なので、何かを調査して終わりというように捉えられてしまう恐れがある。そうならないようにしていただきたい。

それでは、以上で全４回の小委員会を終了させていただく。

3 その他

○事務局より、次回の全体会（１０月１１日１５時～開催）の案内。

閉会